



中安農機店



代表 中安則光氏

あなたのお店を拝見 他の農機店と棲み分け 優良顧客をしっかりと捉まえ 安定した経営を継続

中安農機店

その275

固定客をしっかりと捉まえ、地域との連携を深めつつ、次世代に繋いでいくために努力を続けている中安農機店(秋田県横手市大森町袴形字北越前林179-3 代表 中安則光氏)を訪ねました。

JR奥羽本線大曲駅から車で約25分、飯詰駅からだと車で約20分、県道36号線沿いに中安農機店があります。店舗は道路工事等の関係で平成7年に全面的に建て替えまし

周辺の農家は米の生産が中心となりますが、その他には大豆、アスパラ、園芸といったものが作られています。また大手メーカーと契約しワイン用のぶどうを栽培している農家など、企業等との契約栽培により安定した収入を得ている農家も多くいます。

中安農機店は、農業をしてきた先代が大の雨の2代目となる代表の中安則光氏は、中学生の時から農機店を継げと言われ続け、高校生の時は繁忙期になると学校を1週間も休んで手伝いをしていました。創業当時は、農機の他にバイク、テレビ等の電化製品なども扱っていました。また農機は創業以来、クボタをメインに扱って現在に至っています。

以前、請われてゴルフ場の機械整備も手掛けていましたが、競合他社の出現で採算もあわず撤退しました。その後は農機以外には手を出さず、先には販売、定期点検、整備に専念してこられました。



中安農機店店内展示

中安農機店は現在、代表の則光氏と奥様、主に整備を担当する2名の他に、則光氏の長男、学氏が自身の仕事の合間を縫って手伝っています。学氏は大学では機械とは無縁の法学部に入り、卒業後は大学受験向けの塾講師の仕事を主に夕方からなので、昼間は農機修



中型整備工場

人口減少、高齢化、商店の減少、農政の変化等、地域独自の課題が山積する中、経営で苦勞も多いためと思えますが、頼りになる御子息がいらっしゃることで、これから活かされ、今後も地域社会に貢献し続ける中安農機店として発展していけることと思えます。

高齡化、人口減、農政の変化に対応した経営
次世代につなげるために今できること

中安農機店は現在、代表の則光氏と奥様、主に整備を担当する2名の他に、則光氏の長男、学氏が自身の仕事の合間を縫って手伝っています。学氏は大学では機械とは無縁の法学部に入り、卒業後は大学受験向けの塾講師の仕事を主に夕方からなので、昼間は農機修

中古農機の販売では一部ネットも利用してはいますが、関西の業者が東北に来て地元と違う値動きになったり、輸出業者が中古農機のネットに多く参加するようになり、顧客の要望にあう中古農機が少なくなってきた。また従来からの農機店同士でのネット上の取引も減少しています。

秋田県商協について何と、次世代向けの研修

人が多いことを知り、除雪機を求め人向けに新聞の折り込みチラシを入れて、他店で購入した除雪機の修理も行うこと等を強くアピールすることです。除雪機を購入する方の中には一度ホームセンターに除雪機を買いに行くと、メンテナンスに不安を感じて普段取引のない人が購入に訪れることもあり、これをきっかけに耕うん機や中古農機を購入する顧客もいるそうです。

秋田県商協について何と、次世代向けの研修



整備工場にて 長男 学氏

農業機械傷害補償制度

アフターサービスの充実で農家との絆を
対象機種
トラクター、コンバイン、耕うん機、S・S、ハーベスター、農業用運搬機、田植機、トレンチャー、芝刈機、除雪機、管理機、ティラー、バインダー

全国農業機械商業協同組合連合会 委託保険会社 損保ジャパン